

## 科学技術をめぐる社会情勢の変化

### ■ 国内外の情勢変化

- 科学技術・イノベーションの領域では国家間の覇権争いが激化  
・AI、量子、高度通信、バイオテクノロジーなどの急速な発展などにより、国家間の競争が激化
- 気候変動問題への対応  
・世界的に脱炭素化に向けた動きが加速、カーボンニュートラルの実現に向けては、革新的イノベーションの推進が必要
- SDGsの推進  
・貧困やエネルギー、気候変動など持続可能な開発のための諸目標の実現には、科学技術イノベーションの役割が重要
- 新型コロナウイルス感染症の拡大  
・感染拡大防止と経済活動維持のためのスピード感のある社会変革が迫られている  
・テレワークやオンライン教育を始め新しい生活様式への変化

### ■ 科学技術に関する国の動向

- 科学技術・イノベーション基本法の改正（R3年4月施行）  
・科学技術・イノベーションの急速な進展により、人間と社会の在り方と科学技術・イノベーションとの関係が密接不可分となっている現状を踏まえ、人文科学を含む科学技術の振興とイノベーション創出を一体的に推進
- 第6期科学技術・イノベーション基本計画の策定（R3年3月）  
・我が国が目指すべきSociety5.0の未来社会像の実現に向けた「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環を起こしていくとしている
- 科学技術立国の実現（R3年10月 岸田首相の所信表明演説）  
・世界最高水準の研究大学を形成するため、10兆円規模の大学ファンドを実現するなど、科学技術・イノベーションへの投資を強化

### ■ 本道が抱える課題の増大と複雑化

- 人口減少と少子高齢化の急速な進行  
・人手不足、生産・消費の縮小、医療・地域交通・物流の維持・確保
- 「ゼロカーボン北海道」の実現  
・2020年3月、道は、「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す」ことを表明。  
再生可能エネルギーと森林などの吸収源の最大限の活用により、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の実現をめざしている
- 「北海道Society5.0」の実現  
・DXの推進、デジタル人材の育成・確保  
・ICT・IoTの社会実装による地域課題の解決と新産業の創出
- 大規模自然災害リスクの高まり  
・北海道胆振東部地震など自然災害による被害を踏まえ、防災・減災の取組が必要